

◇携帯電話

講演会場内での携帯電話による通話を禁止します。会場内では電源をオフにするかマナーモードに設定し、呼び出し音が鳴らないようご注意ください。

5. 年会についての問い合わせ

◇問い合わせ先

◆年会実行委員会 E-mail: bp_nenkai56@okayama-u.ac.jp

◆参加登録・演題登録 システムサポートデスク

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入る 中西印刷株式会社内

E-mail: bsj2018sys-sprt@e-naf.jp

◆年会実行委員会サポート

〒532-0003 大阪市淀川区宮原 2-14-14 新大阪グランドビル 6F

株式会社エー・イー企画内

Tel: 06-6350-7163 FAX: 06-6350-7164

E-mail: jbp2018@aeplan.co.jp (年会全般)

E-mail: e_jbp56@aeplan.co.jp (広告・展示関連)

◆年会本部(会期中のみ) Tel: 080-4137-9158

オーガナイザー・座長・発表者へのご案内

◇使用言語

すべての発表の言語は原則として英語です。

◇発表方法(シンポジウム・口頭発表)

パソコンによる発表となります。必ずご自身のノートパソコンをお持ちください(会場にはパソコンを用意しておりません)。パソコンの操作は発表者ご自身で行ってください。発表データの作成や当日発表の際には以下の点にご留意ください。

注意1) 音声出力には対応しておりません。

注意2) 画像解像度は1024×768ピクセル(XGA)です。この環境下で発表データを作成してください。これより大きい画面サイズでデータを作成すると、スクリーン映写時に画面をはみ出す等の不具合が起こる可能性があります。

注意3) 会場スタッフがパソコンを会場に備え付けられた切り替え装置(セレクター)に接続いたします。

注意 4) 切り替え装置に繋がるパソコンの映像出力端子は、「ミニ D-sub15 ピン端子 (メス)」のみです。端子の形状が異なる場合 (Macintosh 等), 変換アダプターをお持ちください。

注意 5) 念のため発表に使用するパワーポイントファイルが入った USB メモリーをお持ちください。

注意 4) バッテリー切れに備え, 電源アダプターをお持ちください。

注意 5) 発表中にスクリーンセーバーや省電力モードにならないよう, あらかじめ設定しておいてください。

◇シンポジウムオーガナイザーへのご案内

受 付：セッション開始の 15 分前までに各会場の「進行席」までお越しの上, 係りの者に来場された旨をお伝えください。

進 行：一任いたしますので, 講演者の講演時間を厳守し, 円滑な進行にご協力ください。事前に事務局に連絡した各講演者の講演時間等に変更が生じた場合は, 会場内の進行スタッフにご指示ください。

◇シンポジウム講演者の方へ

受 付：セッション開始の 15 分前までに各会場の「PC 接続席」にお越しください。発表スライドをご確認いただいた後, 会場スタッフがパソコンを PC 切り替え装置に接続いたします。

講演時間：シンポジウムの時間配分はオーガナイザーに一任しております。若手招待講演シンポジウムの講演時間は, 発表 10 分, 討論 3 分, パソコンの交換に 2 分です。

◇一般口頭発表の座長の方へ

受 付：担当セッション開始の 15 分前までに各会場の「進行席」までお越しの上, 係りの者に来場された旨をお伝えください。

進 行：会場には時間を計測するスタッフを配置しています。発表者の発表時間を厳守し, 円滑な進行にご協力ください。

◇一般口頭発表の講演者の方へ

受 付：セッション開始の 15 分前までに指定された会場の「PC 接続席」までお越しください。会場スタッフがパソコンを切り替え装置 (セレクター) に接続いたします。

講演時間：発表 8 分, 質疑応答 3 分 30 秒, 交代時間 30 秒

◇ポスター発表の方へ

ポスターの貼付・展示，説明・討論，撤去：

		9月15日（土）	9月16日（日）	9月17日（月・祝）
貼付		8:30 - 9:30	8:30 - 9:30	8:30 - 9:30
説明・討論	奇数番号	16:30 - 17:30	16:30 - 17:30	12:45 - 13:45
	偶数番号	17:30 - 18:30	17:30 - 18:30	13:45 - 14:45
撤去		18:30 - 18:45	18:30 - 18:45	14:45 - 15:00

1. ポスターは日替わりで貼り替えてください。
2. ポスターボードの大きさは，幅 90 cm，高さ 210 cm。貼付に必要な押しピンは会場に用意します。
3. 撤去時間を過ぎて残ったポスターは年会事務局にて破棄しますので，ご了承ください。

◇ポスター発表要項

ポスターは英語で作成してください。ただし，タイトル，所属，著者名は，可能であれば日本語の併記もお願いいたします。発表代表者の氏名には左肩に小さな○印を付けてください。

※発表形式と演題番号(各予稿左上の番号)の見方

発表形式は，シンポジウム発表（Symposium Speech），若手招待講演シンポジウム（Early Career Award in Biophysics Candidate Presentation Symposium），一般口頭発表（Oral Presentation），ポスター発表（Poster Presentation），があります。

〈シンポジウム発表：(例) 1SAA-03の場合〉

1（1日目）S（シンポジウム）A（A会場）A（AM: 午前）-03（発表順番）

〈若手招待講演シンポジウム：(例) 1YK1045の場合〉

1（1日目）Y（若手招待講演シンポジウム）K（K会場）1045（10:45 講演開始）

〈一般口頭発表(例) 2B1320の場合〉

2（2日目）B（B会場）1320（13:20 発表開始）

※学生発表賞に応募した発表には演題番号の右側に「*」がついております。

〈ポスター発表：(例) 3Pos001の場合〉

3（3日目）Pos（ポスター）001（ポスターパネル番号）

会員総会, 各種委員会のご案内

1. 一般社団法人日本生物物理学会第5回会員総会開催通知

一般社団法人日本生物物理学会第5回会員総会を開催いたします。主な議題は下記の通りです。

会員の皆様は、是非ご出席ください。

日 時：9月16日（日）12:35 - 13:55

会 場：B会場（一般教育棟 A 棟 2 階 A21）

議 長：会長 神取 秀樹

総会議題：

(1) 報告事項

- ・平成29年度決算報告ならびに監査結果報告
- ・平成30年度会計ならびに事業の中間報告と今後の計画
- ・次期年会について

(2) 第5回会員総会シンポジウム：「生物物理学の根本問題 #1: 生物の物理的境界」

※詳細は46ページをご覧ください。

2. 理事会, 会員総会, 各種委員会の案内

委員会等	開催日程		会場
ホームページ編集委員会	9月14日 (金)	14:00 - 16:00	諸会議室 (一般教育棟 A 棟 3 階 A32)
生物物理編集委員会		16:30 - 18:30	
Biophysics and Physicobiology 編集委員会	9月15日 (土)	9:40 - 10:40	
出版委員会		10:40 - 11:40	
平成30年度第2回理事会（旧運営委員会）		11:45 - 12:35	
若手奨励賞選考委員会		16:10 - 17:10	
臨時社員総会		19:00 - 20:20	
男女共同参画・若手支援委員会	9月16日 (日)	10:00 - 11:30	諸会議室 (一般教育棟 A 棟 3 階 A32)
分野別専門委員会		11:45 - 12:35	B会場
会員総会・総会シンポジウム		12:35 - 13:55	B会場
若手の会会議		16:00 - 17:00	諸会議室 (一般教育棟 A 棟 3 階 A32)
企業との意見交換会	9月17日 (月)	9:30 - 11:00	諸会議室 (一般教育棟 A 棟 3 階 A32)

() は法人化前の名称

謝 辞

本年会の開催・運営にあたり、以下の団体よりご協力・ご援助いただきました。
関係者一同より御礼を申し上げます。

助成（敬称略）

- （公社）おかやま観光コンベンション協会
- （公財）岡山医学振興会
- （公財）両備櫻園記念財団

共催／協賛（敬称略）

Strategic Japan-Singapore Research Program by JST and A*STAR: New optical platform for mechanics of cellular-self-organization

日本医療研究開発機構（AMED）・創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業

日本医療研究開発機構 革新的先端研究開発支援事業（AMED-CREST/PRIME）

JST-CREST「超絶縁性脂質二分子膜に基づくイオン・電子ナノチャネルの創成」

JST CREST「ライフサイエンスの革新を目指した構造生命科学と先端的基盤技術」領域

CREST「二次元機能性原子・分子薄膜の創製と利用に資する基盤技術の創出」

CREST「光の特性を活用した生命機能の時空間制御技術の開発と応用」

新学術領域研究「宇宙からひも解く新たな生命制御機構の統合的理解：

重力変化を含む力学的ストレスに対するメカノセンシング機構」

新学術領域研究「動的構造生命科学を拓く新発想測定技術

—タンパク質が動作する姿を活写する—」

新学術領域研究「光合成分子機構の学理解明と時空間制御による革新的光

—物質変換系の創製」

新学術領域研究「新光合成：光エネルギー変換システムの再最適化」

新学術領域研究「3D 活性サイト科学」

新学術領域研究「シンギュラリティ生物学」

新学術領域研究「発動分子科学：エネルギー変換が拓く自律的機能の設計」

ポスト「京」重点課題 1 「生体分子システムの機能制御による革新的創薬基盤の構築」

第56 回日本生物物理学会年会

実行委員長 沈 建仁